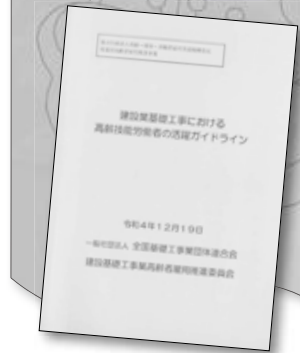


## 建設業基礎工事における 高齢技能労働者の活躍ガイドライン



基礎工事業界は慢性的な技能労働者不足に陥っており、技能労働者の補充・雇用対策として、高齢社員の継続雇用に多くの組合員企業が

取り組んでいる。しかし、2025年には65歳定年を迎える社員が増加し、その後も年々増える見通しであり、技能労働者不足が危ぶまれる状況である。同ガイドラインは2021（令和3）年に実施した「高齢者雇用推進事業企業向けアンケート」の結果と、専門家の知見と所見をまとめたものである。

序章は、行政による雇用改善に関する諸施策とともに、アンケート調査から判明した組合企業における高齢者雇用の現状について、グラフや図を交えて紹介している。

「第1章 高齢者雇用の現状と対策・高齢者雇用のポイント」では、日本の少子高齢化の現状をふまえたうえで、これまでの基礎工事業における高齢者雇用の取組みをふり返り、高齢技

能労働者が継続して働いていくために、企業や業界が向き合っていくべき課題とポイントをまとめている。

「第2章 高齢技能者の雇用推進のための職場改善のあり方」では、「第1節 組合員企業を対象としたアンケート調査から理解すべきこと」において、高齢技能者の活用に向けたむずかしさやメリット、期待する役割や活躍してもらうための配慮について、関連するアンケート結果を紹介し、高齢技能者に活躍してもらうための要点をまとめている。「第2節 職場改善の意義と基本的な方策」では、労働環境と労働条件の改善に係る法規に触れつつ、法定以上に自発的に環境改善に取り組むことの重要性や、職場の働きやすさと働きにくさを決定づける要因（労働条件）について解説している。「第3節 高齢技能者のための職場改善」では、高齢技能者を取り巻く職場の特性を整理し、どの

ように「職場魅力」を開発し提供していくかのヒントを示している。

「第3章 雇用・人事制度のあり方」では、能力開発や技能伝承、健康管理など、高齢者雇用を推進するうえで必要な取組みなどについて解説。また、高齢者就業確保措置を講じるための基礎的要件についても、わかりやすく記載している。

「第4章 高齢技能者の職場と給与水準・人事評価について」では、高齢技能者の職場や賃金等に関するアンケート結果を紹介。「第5章 技能労働者のキャリアプランの意義と導入基盤」では、キャリアややりがいなどの観点から行ったアンケート調査の結果に触れながら、取り組むべき課題を示している。

巻末には、職種転換や新規採用などで高齢社員が活躍する事例を紹介する「高齢者雇用の好事例集」のほか、高齢者雇用に関する法律や助成金などを紹介する「参考資料集」を掲載している。

一般社団法人 全国基礎工事業団体連合会

住所 〒132-0003 東京都江戸川区平井5-10-12 アイケビル4F

TEL 03-3612-6601

FAX 03-3612-6602

HP <http://www.ktirm.or.jp/zenkren>